

詩集『月に吠える』100年記念展 — ここからすべてが始まった 記念イベント  
前橋文学館リーディングシアターVol.3

# 『月に吠える』

## 声で立ち上がらせる

殺人事件

びらびら

酒精中毒者の

愛憐

再演!



奇妙さでれつ

ぴかぴか

おわあ

發禁處分

ぜつたいぜつめいだ



### 《交通案内》

【交通機関】JR前橋駅から徒歩約15分/上毛電鉄中央前橋駅から徒歩約5分

【自動車】関越自動車道 前橋I.Cから車で約15分

※市営パーク城東のご利用に際しては、駐車券に割引処理いたします。



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち 前橋文学館

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10 TEL.027-235-8011 FAX.027-235-8512

URL: <http://www.maebashibungakukan.jp/> E-mail: [bungakukan@city.maebashi.gunma.jp](mailto:bungakukan@city.maebashi.gunma.jp)

2017年8月20日(日) 《1回目》開場 12:30 / 開演 13:00 《2回目》開場 15:00 / 開演 15:30

前橋文学館 3階ホール 各回80人(申込先着順) 入場料: 無料

※7月30日(日)9時から前橋文学館へお電話にてお申込みください。

主催: 前橋文学館 協力: 朔太郎忌実行委員会

詩集『月に吠える』100年記念展 — ここからすべてが始まった 記念イベント  
前橋文学館リーディングシアターVol.3

# 『月に吠える』を 声で立ち上がらせる

萩原朔太郎の第一詩集『月に吠える』。日本近代詩史における  
ひとつの事件と言えるこの詩集は、本年度で刊行100年を迎えま  
した。どのように刊行され、どのような詩集だったのか。

今を生きる高校生の思いと100年前の朔太郎の言葉とが交差  
しながら、物語は進みます。

多くの詩と書簡を下敷きにした脚本と、出演者の熱演によって  
声で立ち上がる『月に吠える』の世界をぜひお楽しみ下さい。

《台本》栗原飛宇馬、浅見恵子 《演出》栗原飛宇馬

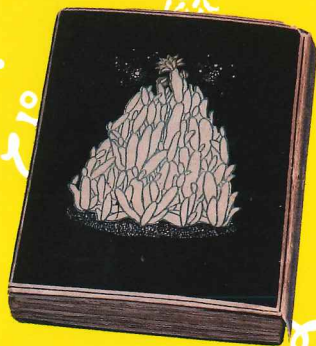
## 前橋文学館にて開催中

詩集『月に吠える』100年記念展  
— ここからすべてが始まった

2017年7月22日(土)～10月9日(月) 9時～17時  
休館日：水曜日  
観覧料：一般300円(高校生以下無料)

『月に吠えらんねえ』展

2017年7月8日(土)～10月9日(月) 9時～17時  
休館日：水曜日  
観覧料：無料



萩原朔太郎第一詩集『月に吠える』1917年2月

## 《出演者プロフィール》



は せ が わ は つ り  
長谷川初範 (萩原朔太郎役)

1955年北海道生まれ。俳優。ケイダッシュ所属。今村昌平主宰の映画塾(現・日本映画大学)卒業(今村賞受賞)。1978年テレビドラマ「飢餓海峡」(CX)でデビュー。以降テレビ、映画、舞台と幅広く活躍を続けている。主な出演作は舞台『ええじゃないか』(主演)『テンペスト』『No.9—不滅の旋律』『ロミオ&ジュリエット』、テレビドラマ『純真きらり』(NHK)『101回目のプロポーズ』(CX)、映画『missing-pages』(主演、アメリカ各州の映画祭で12の作品賞)『いのちの山河—日本の青空II』(主演)『TAKAMINE ~アメリカに桜を咲かせた男』(主演)など。今夏『ベートーヴェンと行くアリスのおんがく旅行』でベートーヴェン役を再演。



は や し けんじゅ  
林 健樹 (室生犀星役)

1957年東京都生まれ。演劇プロデューサーとろんぷるいゆ所属。劇団いろは〜劇団青年座四期。乗馬を宇津井健、ジャズダンスを真島茂樹に学ぶ。『科学戦隊ダイナマン』(レギュラー)ほか、東映の特撮番組に多数出演。時代劇『大江戸捜査網』『遠山の金さん』『大岡越前』ほか、土曜ワイド劇場、火曜サスペンス劇場、時代劇スペシャルなど出演多数。2015年11月『この道はいつか来た道』(別役実・作)で演劇活動再開。同年12月『場所と思い出』(別役実・作)主演。2016年『楽屋』(清水邦夫・作)、『イエスタデイ』(清水邦夫・作)、『朗読劇団桃色旋風』(レギュラー)ほか。



は ぎ わ ら さ く み  
萩原朔美 (北原白秋役)

1946年11月14日東京都生まれ。映像作家、エッセイスト。多摩美術大学名誉教授。母は小説家萩原葉子、母方の祖父は萩原朔太郎。1969年寺山修司主宰の演劇実験室「天井桟敷」の立ち上げに参加、演出家として活躍。1975年月刊誌「ビックリハウス」をバルコ出版より創刊し、初代編集長を務める。著書に『「演劇実験室・天井桟敷」の人々』(2000年)、『毎日が冒険』(2002年)、『死んだら何を書いてもいいわ』(2008年)、『劇的な人生こそ真実』(2010年)ほか多数。2016年4月より前橋文学館館長。



や な ぎ さ わ み ち よ  
柳沢三千代 (ナレーション)

大阪府生まれ。声優・ナレーター。青二プロダクション所属。大阪府出身。日本大学芸術学部演劇学科卒。在学中に如月小春主宰の劇団「NOISE」に旗揚げより参加、座長の進言で声優の道へ。アニメでは『それいけ!アンパンマン』カレーパンマン役、『機動戦士ガンダムSEED』エリカ・シモンズ役、上田トシコ原作『フィチンさん』フィチン役、ちばてつや原作『風のように』語りほか。テレビでは『歴史発見 城下町へ行こう!』(BS朝日)、『名作を旅してみれば』(BSフジ)ほか多数。朗読ユニット「はんなりラヂオ」主宰、「WAKU」プロデュースで舞台の活動も続けている。